

奈良先端大と参天製薬(株)が、連携講座の設置で協定締結
～産学連携をいっそう強化し、人材育成にも大きく貢献～

奈良先端科学技術大学院大学（奈良県生駒市 学長：鳥居宏次）と参天製薬株式会社（本社：大阪市東淀川区 社長：森田隆和）は、同大学 物質創成科学研究科の連携講座「機能高分子科学講座」における学生の教育・研究に関し、協定を結びましたのでお知らせいたします。

本協定は、平成17年4月から実施し、同社 奈良研究開発センター（奈良県生駒市）からの下記スタッフ3名が、病気に深く関わるといふタンパク質のリン酸化を触媒するキナーゼ（酵素）をターゲットにした合成基礎研究を中心課題に据え、同大学の学生を教育・研究指導します。

本件により、産学間の双方向的・実質的な協力関係を構築し、けいはんな学研都市を中心とした産学連携の推進と、病気に苦しむ患者さんの治療に貢献できる新薬の創成、及び人材の育成を目指します。

また、両機関は、互いに至近な距離に立地することもあり、そのメリットを最大限に生かした相乗効果が大きく期待できます。

講座の概要

講座名称：機能高分子科学講座

設置場所：奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科棟内

研究内容：病態の発症や増悪に深く関わっているキナーゼ（酵素）に着目し、コンピューターによる薬物設計を行い、キナーゼ機能を調整する新たな医薬品創成、並びに最新の技術を用いて医薬品創成に必要な合成技術の開発を目指します。

スタッフ：客員教授 伴 正和（ばん まさかず） 青野浩之（あおの ひろゆき）
客員助教授 本田崇宏（ほんだ たかひろ）

*用語説明：「連携講座」とは

高度な研究水準をもつ企業との連携により教育研究を行います。連携講座の設置により得られる最大の効果は、真の意味での産学交流の発展です。従来の産学交流は、産から学への一方的なものでしたが、連携講座の教員は大学の施設・設備を利用して教育研究を行い、学生は企業の研究施設を利用して教育・研究指導を受けることができます。これにより、学生は基礎科学から応用科学への展開の局面について、大学教員からだけでは得づらい教育・研究指導を受けることができ、また、連携講座の教員は将来の先端科学技術を担う人材育成に寄与することができます。物質創成科学研究科では、現在6つの連携講座を開設しています。

問合せ先： 奈良先端科学技術大学院大学 広報・情報管理室 松本 勝昌

TEL 0743-72-5026

参天製薬株式会社 コーポレート・コミュニケーショングループ 田中 政男

TEL 06-6321-7007 （証券コード：4536、東証・大証第一部）